



エリアニュース ココ color ソコ color

TOPICS

11/28

リンゴの技術向上を図る JA果樹部会

第11回果実品評会を開きました。リンゴ晩生種5品種28点が出品され、着色具合や玉ぞろいなどを審査しました。リンゴ金賞には、サンふじで佐藤芳一さん(大東)、シナノゴーリドで峰のりんご屋さん(一関)が輝きました。リンゴはJA西部園芸センターで展示、販売されました。



出品されたリンゴを審査する審査員

11/20

児童養護施設へ新米贈る JA集落営農組織連絡協議会



新米を贈るJA関係者と一関藤の園関係者

児童養護施設一関藤の園で暮らす子どもたちの健やかな成長を願い、協議会に加盟する24組織から提供された「ひとめぼれ」「こがねもち」計870キロを贈呈しました。柿田堅会長は「子どもたちにはお腹いっぱいにごはんを食べてほしい」と話しました。

生産者から活発な意見が出され協議

令和7年度畜産事業懇談会を開きました。畜産部門の10月末の販売実績が報告された他、生産者組織代表者からは鳥獣被害への対策などについて要望が出されました。今後も生産者組織と意見交換をし、畜産振興の健全経営と活性化を目指していきます。



表彰を受ける赤柴集落の代表者④

令和7年度一関地方農林業振興大会を開き、一関地方の農林業や農村社会の発展に貢献した2部門2組の個人や団体が表彰されました。受賞者による活動成果の発表や記念講演が行われ、参加者はさらなる地域の農林業の発展に向け意識を高めました。

11/27

畜産振興に向け意見交換

令和7年度畜産事業懇談会を開きました。畜産部門の10月末の販売実績が報告された他、生産者組織代表者からは鳥獣被害への対策などについて要望が出されました。今後も生産者組織と意見交換をし、畜産振興の健全経営と活性化を目指していきます。



金融機関での強盗事件を想定した防犯訓練

防犯訓練をJA花泉支店で行いました。銀行や郵便局、信用金庫など金融機関の職員が見学する中訓練が実施され、対応したJA花泉支店の職員は、犯人の対処方法や通報、逃走時の対応、現場保持、警察署員が到着後の説明など手順に沿って確認しました。

11/13

もしもに備えて対応確認 一関地区金融機関防犯協会

防犯訓練をJA花泉支店で行いました。銀

12/10

花泉青年部が最優秀賞に

JJA青年部協議会



審査の様子と花泉青年部の作品



令和7年度立て看板コンクールの最終審査を行いました。デザインの美しさなどを審査し、最優秀賞に花泉青年部の「命に感謝しよう」が輝きました。デザイン賞には室根青年部、アイデア賞には一関青年部中里支部、努力賞には平泉青年部が入賞しました。



参加者⑥からの質問に答えるJA担当職員

野菜・花卉の新規栽培者向け説明会「2022年園芸だよ！全員集合」を開きました。JA園芸課の職員による栽培管理の年間スケジュールや収支についての説明の他、品目別に個別面談を行いました。参加者は興味のある品目について理解を深めていました。

11/30

新規栽培者に向け説明会



高値取引を願って乾杯する生産者

鈴木ファーム（一関）が初めて最優秀賞に輝きました。研究会には36頭が出品され、5等級に33頭、4等級に3頭が格付けされ、上物率は100%。枝肉単価は平均2591円で、全体的に肉質も良く、好成績を収めました。

11/29

鈴木ファーム初の頂点に

第24回いわて南牛枝

肉研究会を開き、(株)

鈴木ファーム（一関）

が初めて最優秀賞に輝

きました。研究会には

36頭が出品され、5等

級に33頭、4等級に3

頭が格付けされ、上物

率は100%。枝肉単

価は平均2591円で、

全体的に肉質も良く、

好成績を収めました。



米集出荷センターでの評価の様子

11/20

米生産管理の環境を評価



豆腐作りを体験する児童

3年生26人は、豆腐作りを体験しました。あらかじめ水に浸した大豆をミキサーにかけて豆乳を作り、にがりを加えて豆腐を作る工程に挑戦しました。児童からは「豆腐作りは難しかつたけれど楽しかった」との声が上がりました。

11/21

滝沢小学校（一関）豆腐の作り方に興味津々

持続的な農場経営と産地育成を目的に、「日本GAP規範」に基づく「グリーンハーベスター（GH）農場評価」を実施しました。GH評価員が管内の圃場やJAの米保管施設を訪れ、ヒアリングをしながら、適切な管理運営がされているかを評価しました。

12/3

「争族」を防ぐためには



セミナーの講師を務めた穀田さん

令和7年度相続税セミナーを開きました。

税理士の穀田有一さんを講師に、相続税や贈与税の制度の活用について学びました。穀田さんは「争族を防ぐためには遺言書などを活用するのも効果的だが、しっかりと家族で話し合いをしておくことが大事」と話しました。



グループ内で意見を出し合う参加者

J A女性部とJ A役員との意見交換会を開きました。女性部員やJ A役職員36人が参加。「創ろう！みんなの力で元気なJ A」をテーマに、初めてグループ討議形式で話し合いました。多くの意見が活発に飛び交い、グループごとの協議内容が全員に共有されました。

12/4

J A女性部 女性部活動に活発な意見



佐藤一則組合長(左)に完成を報告する部員

カレンダーを作成し、一関市と平泉町、JAに完成報告と贈呈を行いました。米穀と園芸、畜産の3種類を作成。部員が写真撮影やキャッチコピーの考案をしました。完成したカレンダーは行政や関係機関、取引市場などへ配布されました。

12/9

J A青年部協議会 担い手確保と産地をPR



西城真奈部長(左)からタオルを受け取る千葉徹センター長

の一環として、部員が手作りしたタオル布巾15枚を、J A千厩介護福祉センターいわいの丘へ寄贈しました。部員は、入所者が健康に過ごせるよう体の清拭などに役立ててほしいと、心を込めて手作業やミシンで縫い上げました。

12/4

J A女性部フレッシュ部 手作りタオルで健康願う

J A女性部フレッシュ部

社会貢献・福祉活動



一関学院高等学校



一関修紅高等学校

12/10

全国大会の出場校を激励

J A全農いわてとJ Aは、岩手県大会を勝ち抜き全国大会に出場する一関学院高等学校陸上競技部と女子バスケットボール部、一関修紅高等学校男子バレーボール部を激励するため、管内産の「ひとめぼれ」20kg、「いわて純情豚」1頭分、金一封を贈りました。